



東京ベイeSGプロジェクト

Version 2.0

東京バイeSGプロジェクト（Version 2.0） 目次

● 東京バイeSGプロジェクトを加速させる	1
<u>東京バイeSGプロジェクトとは</u>	3
● 50年・100年先の未来の東京を創る	4
● バイエリアを舞台に未来の東京を築く	5
● 「自然」と「便利」が融合する「持続可能な都市モデル」の実現	6
<u>プロジェクトのこれまでの振り返る</u>	7
● これまでの取組と成果	8
● バイエリアを取り巻く状況	15
● 臨海副都心エリアの賑わいを創る新たなコンテンツ	16
<u>プロジェクトの実現に向けた戦略</u>	17
● プロジェクトの実現に向けた戦略をアップデート	18
● プロジェクトの実現に向けた戦略(2050年代に向けて)	19
● 環境・GX	
● DX・テクノロジー	
● 共創・仲間づくり	
● まちづくり	
● 2035年:最先端技術が実装された、アジアを代表するイノベーションフィールド	
● 2050年以降:新しい価値を生み続ける世界のモデル都市	
<u>プロジェクトの今後の展開</u>	27
● 東京バイeSGプロジェクトの今後の展開	28
● 3か年のアクションプラン(臨海副都心エリア)	
● 3か年のアクションプラン(中央防波堤エリア)	
● 次世代モビリティの実装	
● バイエリアから世界へ「人類の未来の水準点となる都市の姿を世界へ広げる」	34
【附属資料 コラム「子供のアイデアを形にする取組」】	35

東京バイeSGプロジェクトを加速させる

「感染症の脅威」と「気候危機」の2つの危機を乗り越えた先にある未来の都市の姿を描き、その実現に向けた「**社会の構造改革**」を速やかに推し進めることを目的に、「**東京バイeSGプロジェクト**」を始動した。

これまで、**バイエリア**（臨海副都心エリア、中央防波堤エリア）において取組を進め、とりわけ中央防波堤エリアを**巨大実装エリア**として開放し、様々な**最先端技術を生み出してきた**。

バイエリアにおける周辺自治体との連携はもとより、プロジェクトの理念を官民学で広げていくため「**東京バイeSGパートナー**」制度を創設し、**300団体**からなるネットワークへと広がっている。

併せて**未来を担う子供たち**から、レゴブロックやMinecraftなどの様々なツールを通じ、バイエリアの未来に向けた**アイデア**を募ってきた。

こうして培ってきたプロジェクトの成果やネットワークを活かし、持続可能な社会の構築に向けて目指すべき未来の都市像を「**SusHi Tech Tokyo 2024**」で**国内外の多くの方々に発信**した。

現在バイエリアでは、BRTの運行拡大や鉄道の整備計画が進むほか、東京2020大会関連施設や民間施設の整備、様々なイベントの開催により、**芸術文化・スポーツ・エンターテインメント**など**新たな賑わい**が生まれてきている。

一方で、**デジタル技術の爆発的進化**や**気候危機**の深刻化、**人口減少・少子高齢化**等、**社会情勢は大きく変化**している。コロナ禍で構想したプロジェクトは**具体化のフェーズ**に突入しており、これまでの成果を更に発展させ、**プロジェクトを加速**していくことが求められている。

これまでの**戦略をアップデート**し、新たな4つの戦略のもと**2050年代の姿**とバックキャストで**2035年までの具体的な取組**を提示する。これらを「**東京バイeSGプロジェクト (Version 2.0)**」として展開し、プロジェクトが掲げる「**新しい価値を生み続ける世界のモデル都市**」を実現していく。

東京ベイeSGプロジェクトとは

- バイエリアを舞台に、50年・100年先を見据え、「自然」と「便利」が融合する持続可能な都市を創り上げることを目的として構想
- 渋沢栄一、後藤新平といった偉大な先人たちの精神を受け継ぎ、未来に住む人々を想い、これまでの延長線にはない大胆な発想で、世界をリードする都市を創り上げていく

東京ベイeSGプロジェクト
Version 2.0

50年・100年先の未来の東京を創る ～ 偉大な先人たちの精神を受け継ぐ ～

歴史を振り返ると、東京・日本の礎を築いてきた先人たちは、「持続可能性」を希求し、先見性と確固たる信念、絶え間ない努力で幾多の困難を乗り越え、ビジョンを描いてきた。

「日本資本主義の父」と呼ばれる**渋沢栄一**は、「国全体が豊かになるためには、経済発展の利益を独占するのではなく、社会に還元することが大切である」という考えのもと、**持続可能な社会の実践**に努めた。

関東大震災後、「帝都復興計画」を策定した**後藤新平**は、人の流れや物流の変化など、**50年・100年先の未来に住む人々を見据えた都市づくり**を進めた。

変化の激しい今だからこそ、こうした先人たちの精神を受け継ぎ、これまでの延長線にとらわれない大胆な発想で、**50年・100年先を見据えた都市のあるべき姿**を描いていく。

この考えのもと、本来の「ESG」(Environment, Social, Governance)の概念も含め、以下の想いを込めて、「**東京ベイeSGプロジェクト**」を推進する。



渋沢栄一
(写真:国立国会図書館)



後藤新平
(写真:国立国会図書館)

eSGプロジェクトの「eSG」に込められた想い

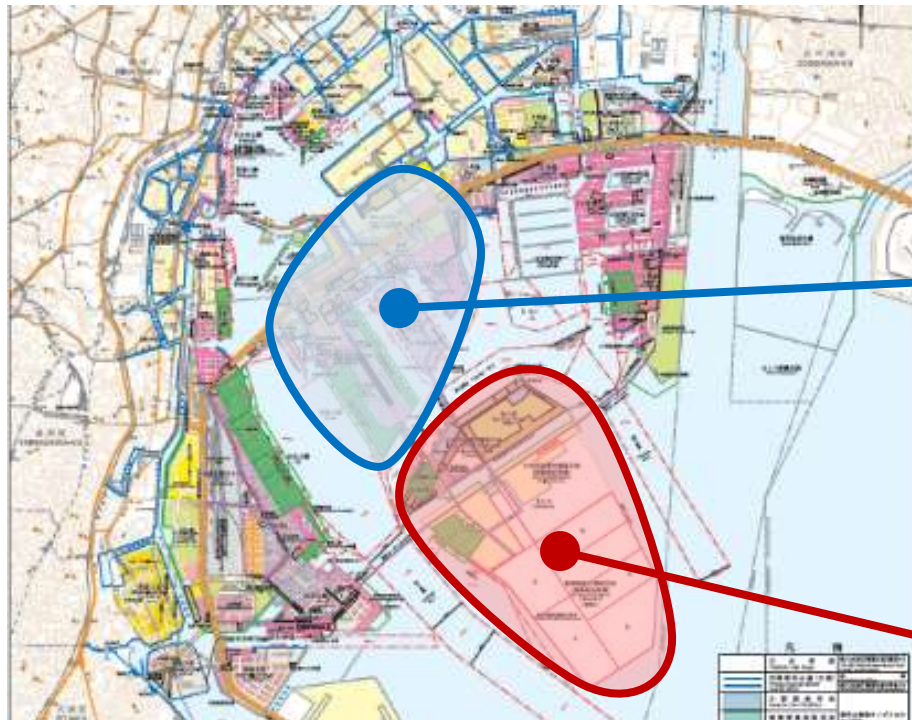
- e** : 環境(environment)、エコロジー(ecology)、
経済(economy)、新時代を切り拓く画期的な技術(ePOCH-making)
- SG**: 渋沢栄一、後藤新平の精神を受け継ぐ(Shibusawa、Goto)

バイエリアを舞台に未来の東京を築く

水辺空間に恵まれた**バイエリア**には、日本を代表する物流ターミナルに加え、商業機能、エンターテインメント、東京2020大会関連施設など**多様な魅力を持つ「臨海副都心」**、将来的には**約1,000haの広大な土地となる新しい埋立地**といったポテンシャルが存在する。

高いポテンシャルを活かし、**このフィールドを舞台にプロジェクトを先行して展開**し、デジタル時代においても「ここにしかない」魅力を求めて人々が集まり、持続可能な都市を実現する。

持続可能性と経済を両立させた都市モデルを社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、**東京の国際的なプレゼンスを更に高める**とともに、**世界が目指すべき未来の都市像**を発信する。



- 職・住・学・遊の機能や、水辺・緑に親しめる公園等がバランスよく立地する、ポテンシャルの高い都市
- 東京2020大会関連施設、民間のエンタメ施設、非日常的体験を提供するイベント等、新たな魅力が創出



スポーツと文化の拠点
(有明アリーナ)



食の祭典(Tokyo Tokyo
Delicious Museum)



SusHi Tech Tokyo
2024

- 他に類を見ないポテンシャルを持つ新しい埋立地

「自然」と「便利」が融合する「持続可能な都市モデル」の実現

世界最大の都市であった「江戸」では、衣食住のあらゆる場面でリユース・リサイクルが行われる**循環型社会**が成立し、「**自然**」と**調和した豊かな街**が育まれてきた。

江戸時代の伝統や、日本企業の高い技術力を生かし、最先端技術(デジタルテクノロジー、グリーンテクノロジー等)をいわば「使い倒す」など「**社会の構造改革**」を速やかに実装し、世界の大都市のモデルとなるような「**自然**」と「**便利**」が融合する**持続可能な都市**を創っていく。

【子供たちが描いた未来の都市像】



絵画で描いた未来をレゴブロックで作品化



Minecraftカップ東京ベイeSG賞受賞作品
©Minecraftカップ運営委員会



生成AIで具現化した楽しい未来

【バイエリアの賑わいと自然】



SusHi Tech Tokyo 2024
シンボルプロムナード公園の賑わい



海の森公園



護岸のグリーンインフラ(将来のイメージ)

プロジェクトのこれまでを振り返る

- 「持続可能な未来の都市像」の実現に向け、様々な主体との連携のもと、最先端技術の実装やベイエリアのまちづくりに取り組んできた
- これまでの取組の成果について振り返り、プロジェクトの更なる展開につなげていく

東京ベイeSGプロジェクト
Version 2.0

これまでの取組と成果（総括）

- ・ 最先端テクノロジーの「**実装**」と、未来の都市像の「**発信**」を両輪で進め、着実に浸透してきた
- ・ 多様な**賑わい創出**の取組により、バイエリアの魅力は向上してきている

実装

- ▶ 中央防波堤で「**先行プロジェクト**」を展開
 - －「空飛ぶクルマ」都内初飛行
 - －世界初の技術を含む20件のプロジェクト

- ▶ 臨海副都心における**未来のまちづくり**
 - －「自動運転推進区域」を設定し、自動運転Level4の実現に向けた支援
 - －水素を活用した脱炭素化に向けた取組を加速
 - －5G通信基盤の整備促進

- ▶ プロジェクトの新たな拠点「**Tokyo Mirai Park**」を開設（日本科学未来館）
 - －テクノロジーを体感し未来を考え、パートナーとともに新たな価値を生み出す場

民間事業者による
先進的な取組を後押し

発信

- ▶ **SusHi Tech Tokyo 2024** の開催（来場者延べ約61万人）
 - －“未来の都市”を広く都民が体感

- ▶ 「**東京バイエSGパートナー**」との連携
 - －国内外の展示会へ出展し、技術をPR
- ▶ **子供たちの参画促進**
 - －人気ゲーム等を活用しアイデア引き出し

テクノロジーなど
未来を体感する機会を創出

賑わい創出

- ▶ **東京2020大会のレガシー施設**が誕生
 - －東京2020大会関連施設
有明アリーナ、有明GYM-EX、
有明アーバンスポーツパーク、
有明テニスの森、
海の森水上競技場、
海の森公園
- ▶ 様々な**イベント**の開催
 - －Tokyo Tokyo Delicious Museum
 - －GRAND CYCLE TOKYO
 - －ARTBAY TOKYO

バイエリアの魅力発信

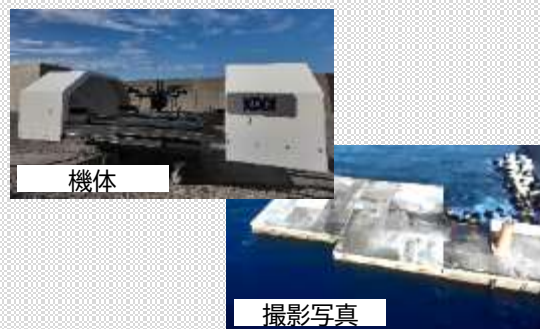
これまでの取組と成果（最先端技術の実装①）

先行プロジェクト

- 中央防波堤エリアを**巨大実装エリア**として活用し、**最先端技術の社会実装**を進める取組を、2022年度から開始
- 事業期間を最大3か年として「**次世代モビリティ**」、「**最先端再生可能エネルギー**」、「**環境改善・資源循環**」の3テーマで公募、実装に向けた伴走支援を展開(これまで20件を支援)
- 生み出された技術を、社会課題解決に向け様々な場面で実装していく

次世代モビリティ

充電ポート付きドローン・
運行システム
港湾施設管理に活用
利島港(利島村)



環境改善・資源循環

環境再現技術・鉄鋼スラグ
水質改善・生物多様性
回復に活用
東京都立東京港野鳥公園(大田区)



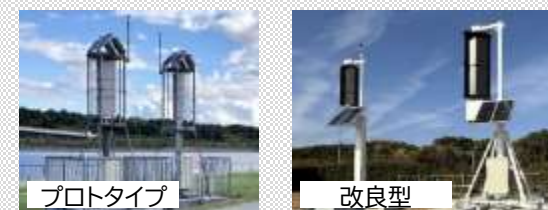
最先端再生可能エネルギー①

舗装式太陽光発電設備
太陽光発電の更なる
適地拡大に活用
(港区)



最先端再生可能エネルギー②

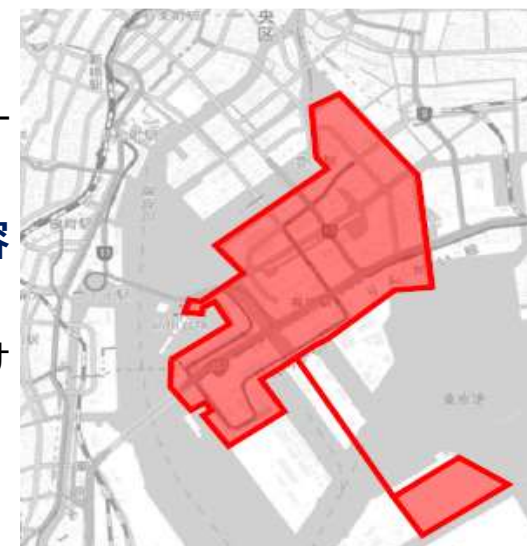
可搬式風力発電設備
衛星通信と組み合わせ、
弱電源地域の防災力
向上に活用
(三宅村)



これまでの取組と成果（最先端技術の実装②）

自動運転

- 自動運転レベル4の早期実装に向け、2024年7月ベイエリア（江東区・港区・品川区の一部）を「**推進区域**」に設定
- 地元自治体と事業者とを結びつけ、関係者調整を円滑化、区域内で事業者が行う**社会受容性向上**に向けた取組を支援
- SusHi Tech Tokyo 2024、有明エリア・江東区内におけるイベント、羽田や西新宿における試乗会（延べ約4,000人参加）など、社会受容性の向上を推進



自動運転「推進区域」

空飛ぶクルマ

- 先行プロジェクトで**2件**を採択
- 社会実装を加速させるため、2024年1月**ロードマップ**公表
- SusHi Tech Tokyo 2024 にて4日間、計7回の**都内初飛行**を実施（来場者約3,100人）
- 2024年6月機体メーカーや運航事業者、通信や管制システムの関係者などを構成員とする「**空の移動革命実現に向けた東京都官民協議会**」を設置



2024年3月 東京国際フォーラムで実施した実機展示



2024年5月 東京ビッグサイトでの都内初飛行



これまでの取組と成果（未来の都市像発信①）

東京ベイeSGパートナー

国内外の大規模な展示会にブース出展、最先端技術を発信

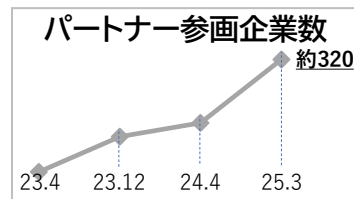
- Japan Mobility Show(東京ビッグサイト、12日間)
ブース来場2.7万人
- CEATEC(幕張メッセ、4日間) 同2千人
- IFAベルリン(5日間) 同7.5千人
- SCEWCバルセロナ(3日間) 同2千人



Japan Mobility Show



IFAベルリン



子供の参画促進

レゴブロックやMinecraftなどの人気のコンテンツと連携
子供たちから**未来の都市**に向けた**アイデア**を募集

- Minecraftカップ 東京ブロック応募作品数
2023年:65作品 ⇒ 2024年:**130作品**
- eSG賞受賞作品をVR化し、「SusHi 2024」で公開



レゴブロック



Minecraftカップ2022



第5回Minecraftカップ
の子供たち

Tokyo Mirai Park

これらの取組を推進する新たな拠点

未来の東京を創造するため、子供たちをはじめ、様々なアイデアを形にする**Tokyo Mirai Park**を開設(日本科学未来館)

- 2024年11月末のオープン以降、これまでに3万人以上が来場、未来の東京に向けた思いやアイデアを書き込める
「未来年表」には、1,000件超の声(いずれも3月10日時点)
- 東京ベイeSGパートナーと連携し、東京の未来を考えるワークショップを毎月開催

1階 Park テクノロジーに触れて未来を「想像」する場



子供たちが体験する様子



3階 Lab アイデアを技術でカタチにする「創造」の場



ワークショップの様子



子供たちの作品

これまでの取組と成果（未来の都市像発信②）

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム

プロジェクトが目指す「未来の都市像」を一早く可視化したプログラムの「体験」を通じ、来場者の共感を得ることで、持続可能な社会の実現に向け、一人ひとりの**気づき**や**行動変容**につなげるきっかけとする

バイエリアの4つの会場で、約1か月にわたり多彩なプログラムを展開



日本科学未来館: 4月27日～5月26日
シンボルプロムナード公園
: 5月12日～26日
海の森エリア: 5月12日～21日
有明アリーナ: 5月17日～21日

総来場者数(4会場合計)	延べ約612,000人
協賛パートナー数	約200団体
メディア露出数	793件
イベントを通じて集めた声	未来ふきだし 884件 SusHi Tech Tokyoブース 5,181件

未来ふきだしに寄せられた声(例)

- ・ 宇宙まで直通
- ・ 学校に行く時、ロボットがいっしょに行ってくれる世界
- ・ 自動運転で「事故」が過去のものに
- ・ そらとぶくるまがたくさんとんでる！
- ・ 水素エネルギーが当たり前
- ・ AIが社会課題を減らす
- ・ クリーンエネルギーで動くグリーンな都市
- ・ いつでもどこにでもいける機械がある
- ・ 世界1のSFに近いテクノロジーの街
- ・ みどりがいっぱい！

「あなたが作ってみたい未来の発明品」



寄せられた声のテキストマイニング



これまでの取組と成果（未来の都市像発信②）

SusHi Tech Tokyo 2024 ショーケースプログラム

日本科学未来館

子供たちが未来のテクノロジーを体験



- 「空飛ぶクルマシミュレーター」「ドローンデリバリー」「おばけレストラン」などのコンテンツを展開
- 体験とワークショップで社会受容性向上に寄与



空飛ぶクルマシミュレーター



おばけレストラン



ワークショップの様子

シンボルプロムナード公園

サステナブルをテーマに

新たな発見や気づきを創出



- 食やアート、ファッション、モビリティなど体験コンテンツを展開
- 伝統と革新のテクノロジーによる賑わいの創出



フードエリアのイベント



モビリティ体験



ツナグルマパレード

海の森エリア

最先端技術を集積



- 海の森の陸・海・空の広大なエリアを活用し、先行プロジェクトで実装を進めるテクノロジーをリアルに体感
- 東京ビッグサイトで「空飛ぶクルマの都内初飛行」



先行プロジェクトツアー



水素石窯で焼くピザの試食



空飛ぶクルマの飛行イベント

有明アリーナ

未来の生活を体験



- 宇宙エレベーター、自動運転車両、ロボット、アシストスーツなどのコンテンツを展開
- 体験展示、ステージプログラムなど、65を超える企業・団体の協力のもとで実施



宇宙エレベーター



巨大ロボットの展示



未来の習い事 ダンスレッスン

これまでの取組と成果（バイエリアの賑わいづくり）

イベントでの賑わい

- バイエリアで新たな賑わい創出イベントを次々と開催し、スポーツ、食、スタートアップイベントなど、それぞれの分野で日本を代表するイベントへと成長しつつある

Tokyo Tokyo Delicious Museum	東京の優れた「食」の魅力を多くの方に楽しんでいただくためのグルメフェスティバル 2022年5月～
GRAND CYCLE TOKYO	レインボーブリッジや東京ゲートブリッジを走行できるライドイベント 2022年11月～ 参加者：第1回約2,000人／第2回約4,500人／第3回約6,000人
SusHi Tech Tokyo 2024	スタートアップ、世界の都市のリーダーが集結、未来の都市を体感 2年でアジア最大級に成長 2024年4・5月 来場者延べ約61万人



Tokyo Tokyo Delicious Museum



GRAND CYCLE TOKYO



有明アーバンスポーツパーク



海の森公園

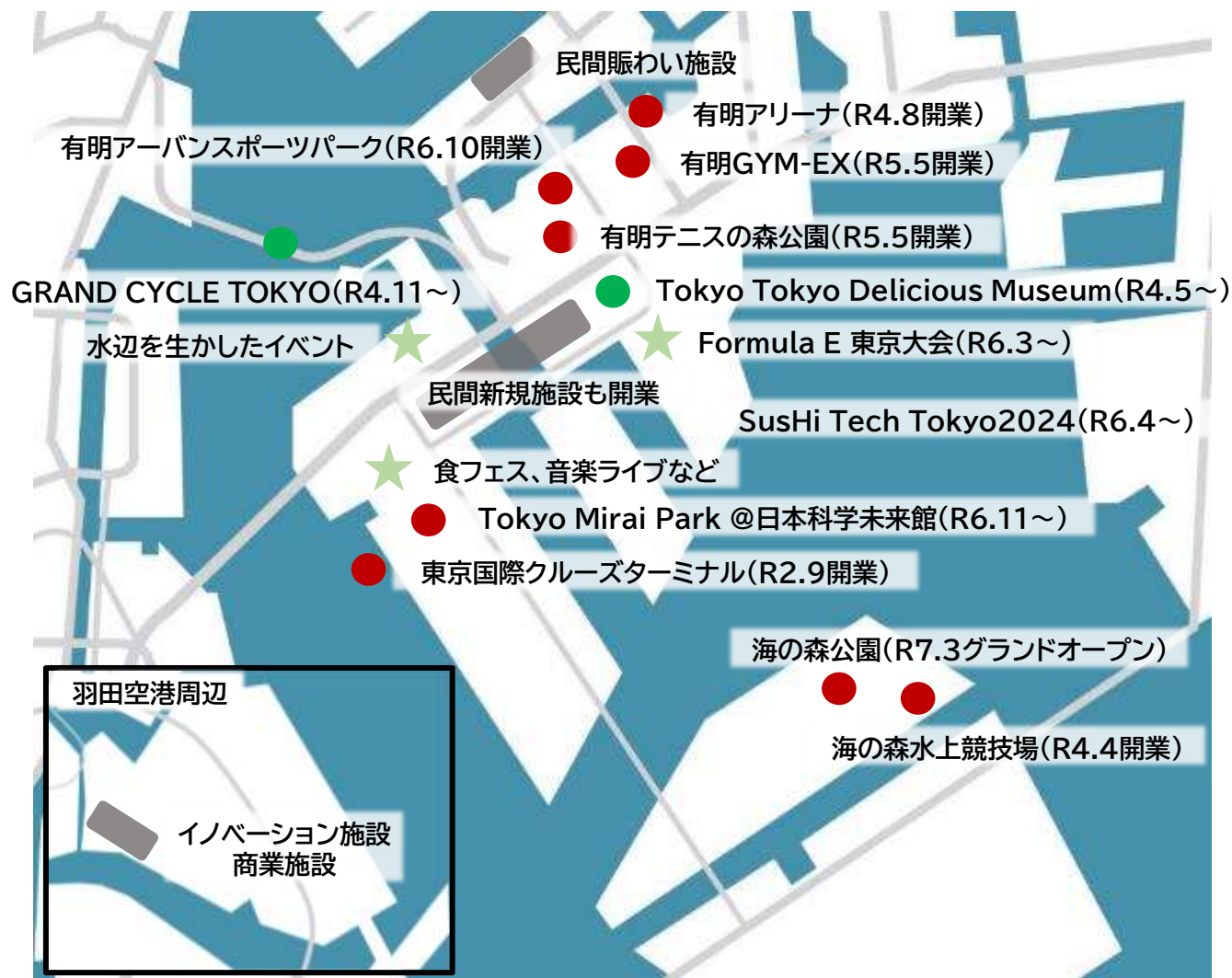
大会レガシーを生かした魅力発信

- 東京2020大会を契機に、バイエリアに新たな**魅力ある施設**が次々と誕生している
- 大会のレガシー**として有効活用され、多くの人に親しまれている

有明アリーナ(2022年8月開業)	バスケットボール、コンサートなど
有明 GYM-EX (2023年5月開業)	大型展示場
有明テニスの森(2023年5月再開業)	東レパンパシフィックオープンなど
有明アーバンスポーツパーク(2024年10月開業)	スケートボード国際大会など
海の森水上競技場(2022年4月開業)	アジア最大級の水上競技大会会場
海の森公園(2025年3月グランドオープン)	音楽フェスやキャンプ

バイエリアを取り巻く状況

バイエリアでは、東京2020大会関連施設に加え、民間主体の施設の開設や多種多彩なイベントなど**新たな賑わい**が次々と誕生している



民間などが主体となる取組事例

【イベント】

- ・ EV自動車の世界的レース
- ・ ビッグサイトで開催されるコミックマーケット、モビリティショー
- ・ 世界各国、様々なジャンルの食のフェス
- ・ テニス、スケートボード、バスケットボール、バレーボールなどの国際大会
- ・ 音楽ライブ、音楽フェス
- ・ ショーケースイベント

【施設】

- ・ 大型総合商業施設(有明地区)
- ・ 豊洲市場周辺賑わい施設
- ・ イマーシブ体験施設
- ・ 都市型EVサーキット
- ・ 羽田空港跡地利用施設

など

臨海副都心エリアの賑わいを創る新たなコンテンツ

官民の連携により、広大な空間や水辺を活かしたベイエリアならではの賑わいを創出

①イルミネーションアイランド
お台場



①世界最大級の噴水



①お台場レインボー花火



⑤有明親水海浜公園



イメージ

イメージ

TOKYO DREAM PARK



⑥東京国際クルーズターミナル



©TOYOTA ARENA
TOKYO



②フローラルパサージュ



コナミクリエイティブ
フロント東京ベイ



提供:コナミグループ

③Tokyo Tokyo
Delicious Museum



④東京ビッグサイト



プロジェクトの実現に向けた戦略

- プロジェクトは様々な成果を上げてきた一方で、AIなどデジタル技術の目覚ましい進歩、深刻さを増す気候危機など、取り巻く環境は変化を続けている
- プロジェクトが目指す姿を実現していくため、戦略をアップデートし、取組を加速させる

東京ベイeSGプロジェクト
Version 2.0

プロジェクトの実現に向けた戦略をアップデート

- **デジタル技術**は目覚ましい進歩。とりわけ**生成AI**は爆発的に進歩し、あらゆる分野へと波及
AIが人間の知能を超える**技術的特異点(シンギュラリティ)の到来**が早まる予測もある
- **気候危機**は年々深刻さを増し、猛暑、ゲリラ豪雨など災害が脅威に。各国で**脱炭素社会**を目指し、**再生可能エネルギー**の普及など**エネルギー確保**に向けた取組が加速、世界規模で**GX**が推進
- 「サステナブル(持続可能)」から「**リジェネラティブ(再生)**」な取組へと進展
- **人口減少・少子高齢化**による価値観や働き方の多様化など**構造的課題**も顕在化
- バイエリアでは、東京2020大会を経て、民間の施設開発も進み、さらにはアート、食、エンターテインメント等、**非日常的な体験**を提供する様々なイベントなど、**まちに賑わいが創出**

コロナ禍で構想したプロジェクトは、具体化のフェーズに突入
これまでの成果を発展させ、社会への実装を進め、取組を加速するため戦略をアップデート

プロジェクトの
目指す姿

新しい価値を生み続ける世界のモデル都市

4つの戦略のもと**2050年代の姿と**
バックキャストで**2035年までの具体的な取組**を提示

環境・GX

DX・テクノロジー

共創・仲間づくり

まちづくり

プロジェクトの実現に向けた戦略（2050年代に向けて）

環境・GX

環境技術を駆使し、ゼロエミッションを実現した世界のモデル都市を構築

- 再生可能エネルギーで、エネルギーの地産地消を実現
- 「サステナブル」を超え、自然の再生と経済の発展が調和した都市
- 素材や製品の特性を踏まえたライフサイクル全体での資源循環を実現したサーキュラーエコノミー

DX・テクノロジー

人の知能を超えたデジタル技術を活用、イノベーションが連鎖、便利で快適な都市を実現

- 知性を備えた様々なデジタル技術がまちに実装
- 生活に密着したロボット、モビリティにより、高い生産性・快適なモデル都市へ
- イノベーションが連鎖し、新たな英知が集積する場を創出

共創・仲間づくり

ゲームチェンジを起こす挑戦者、未来を担う子供、多様な主体が絶えず活躍する舞台を創出

- 挑戦者が集い、共感と共創によるバイエリア発のサステナブルなテクノロジーが次々と生み出され、テクノロジーの発祥の地として世界から注目
- 2050年の子供たちが、その50年・100年先の明るい未来像を描き、実現できる技術「Dream Oriented Technology」が完備

まちづくり

広大な空間や水辺を生かした賑わいの創出、「新しい何かと出会える」世界を魅了する都市を実現

- テクノロジーと感性が高度に融合された、芸術文化、スポーツ、エンターテインメントなどの世界有数の発信地に
- 充実した交通ネットワークを備え、快適で豊かな、泳げる水辺や多様な緑・生物が調和し、人を中心にしたサステナブルな都市

2050 環境技術を駆使し、ゼロエミッションを実現した世界のモデル都市を構築

- ① 再生可能エネルギーで、エネルギーの地産地消を実現
- ② 「サステナブル」を超え、自然の再生と経済の発展が調和した都市
- ③ 素材や製品の特性を踏まえたライフサイクル全体での資源循環を実現したサーキュラーエコノミー

2035

- ① 再生可能エネルギーの導入によるエネルギー自給率の向上
 - ・ バイエリアにおけるグリーン水素の製造と供給体制の構築
 - ・ 次世代型ソーラーセル、舗装式太陽光をはじめとした最先端再生可能エネルギーが街中で展開
- ② 様々な環境技術を駆使し、サステナブルなまちへ
 - ・ 水質改善や水辺のグリーンインフラ・ブルーインフラ整備など、生物多様性の保全・回復を推進するとともに、バイエリアにおける水辺空間の再生
 - ・ グリーンファイナンスの活用など、先端技術の開発を後押し
- ③ エリア全体で取り組む、複合的なサーキュラーエコノミーの実践
 - ・ 臨海部の都市空間等を活用したアーバンファームの推進や、DAC技術※の積極活用などにより、カーボンリサイクルを見据えた資源循環技術を実装

※ DAC技術 … Direct Air Capture(：直接空気回収)大気中の二酸化炭素を直接回収する技術



2050 人の知能を超えたデジタル技術を活用、イノベーションが連鎖、 便利で快適な都市を実現

- ① 知性を備えた様々なデジタル技術がまちに実装
- ② 生活に密着したロボット、モビリティにより、高い生産性・快適なモデル都市へ
- ③ イノベーションが連鎖し、新たな英知が集積する場を創出

2035

- ① 先駆的なデジタル技術をバイエリアのまちづくりや人々の生活へ実装
 - ・ ヘルスケアや食・趣味など、個人に最適化された快適な環境づくりを先駆的なデジタル技術で推進
 - ・ 多彩なコミュニケーションロボットが、バイエリアの案内やサービスを充実
- ② 様々な場面にロボット、モビリティ等を先駆的に導入し、生活・生産レベルを向上
 - ・ 輸送、高所作業、インフラ点検など利便性や安全性を高めるロボットやドローンの活用、導入
 - ・ 空飛ぶクルマや自動運転、自動運行船等に加え、場面や個人の特性に応じたパーソナルモビリティが活躍
 - ・ 身体拡張や、アシストスーツ、介護、ヘルスケア技術など、社会課題解決に資する技術開発を集積
- ③ 積極的なショーケースの展開により、イノベーションを生み出す土壌を育成
 - ・ ロボット、モビリティなど新技術の実装を先導する巨大実装エリアを創出
 - ・ 宇宙・海洋フロンティア開発、DXインフラなど、新たなイノベーションを生み出す仕組みを検討



2050 ゲームチェンジを起こす挑戦者、未来を担う子供、多様な主体が 絶えず活躍する舞台を創出

- ① 挑戦者が集い、共感と共創によるバイエリア発のサステナブルなテクノロジーが次々と生み出され、テクノロジーの発祥の地として世界から注目
- ② 2050年の子供たちが、その50年・100年先の明るい未来像を描き、実現できる技術「Dream Oriented Technology」が完備

2035

① 多様な主体が結びつき共創する「eSG版エコシステム」の構築

- ・ 多様な主体に東京ベイeSGパートナーへの参画を促し、社会課題解決の挑戦を形にする環境整備・規制緩和を推進
- ・ バイエリアで、関係自治体、地域の中小企業や創業支援施設、団体、パートナー企業、訪れる人々などとの連携・参画する「eSG版エコシステム」を構築し、イノベーションを創出
- ・ ゲームチェンジの挑戦者と投資家とを結びつける機会の創出



② 子供や若者の豊かな発想を具体化し、実現していく「共創活動」の推進

- ・ 子供たちが想像する「未来の姿」を、技術により具現化、製品化するなど、多彩な共創活動を展開



2050 広大な空間や水辺を生かした賑わいの創出、「新しい何かと出会う」世界を魅了する都市を実現

- ① テクノロジーと感性が高度に融合された、芸術文化、スポーツ、エンターテインメントなどの世界有数の発信地に
- ② 充実した交通ネットワークを備え、快適で豊かな、泳げる水辺や多様な緑・生物が調和し、人を中心にしたサステナブルな都市

2035

- ① 芸術文化、スポーツ、エンタメの「新たな創造地」へ
 - ・ 世界レベルのアートやスポーツ大会、エンタメ、ナイトタイム観光などにより魅力を高め、「新たな創造地」へと成長
 - ・ 「エンタメ×DX」を楽しむ体験エリア(噴水、ドローンショー、プロジェクションマッピング、光のエンタメなど)
- ② 水と緑が調和したまちづくりやインフラ整備の官民連携による推進
 - ・ 水と緑を生かしたゆとりと潤いのある空間、人中心の快適なまち
 - ・ 都心部・臨海地域地下鉄など交通ネットワークの充実に向けた取組の推進
 - ・ コンテナふ頭の整備・再編やAI等のデジタル技術により港湾物流を効率化
 - ・ 集中豪雨、首都直下地震など、自然災害に強い(Disaster - Ready)都市
 - ・ 多様な主体が共創するウェルビーイングなまちづくり



2035年:最先端技術が実装された、アジアを代表するイノベーションフィールド



2050年以降:新しい価値を生み続ける世界のモデル都市



プロジェクトの今後の展開

- 戦略を実行していくため、様々な主体との連携を深めながらプロジェクトを加速させる
- 臨海副都心エリア、中央防波堤エリアでの取組を発展させ、バイエリアから東京全体、日本全体へと波及し、プロジェクトが目指す持続可能な都市モデルを、世界へ発信していく

東京ベイeSGプロジェクト
Version 2.0

東京ベイeSGプロジェクトの今後の展開

- 今後、具体化した将来像の実現に向け、様々な主体との**連携体制のもと具体的なプロジェクトを推進**していく
- あわせて、民間開発の誘導方針などの具体的な取組を**まちづくり戦略**に反映し、時代や状況の変化に応じて、**プロジェクトをアジャイルしながら加速**していく



3か年のアクションプラン（臨海副都心エリア）

「2050東京戦略」より抜粋

臨海副都心エリアのポテンシャルや多様な魅力を活かした事業を展開

脱炭素化の推進

- 「臨海副都心カーボンニュートラル戦略」に基づく取組の推進

次世代モビリティの社会実装

- 来訪者の回遊性を一層高めるため、自動運転車両等の次世代モビリティを運行

共創・仲間づくり

- 「Tokyo Mirai Park」での「eSG版エコシステム」の推進、未来につながる最先端技術の発信
- SusHi Tech Tokyo などを通じ、最先端技術を活かしたビジネスの機会を拡大

魅力と賑わいにあふれるベイエリアの形成

- 東京の食の魅力を堪能できるTokyo Tokyo Delicious Museum
- 冬の一大イベントとなるイルミネーション
- 誰もが多様なアートに親しむ国際的美術展
- 新たなランドマークとなる噴水
- 国内最大級の花の回廊「トウキョウフローラルパサージュ」
- 官民が連携して賑わいを創出
- 都心部・臨海地域地下鉄の事業化に向けた取組を推進



具体的な取組	年次計画		
	2025年度	2026年度	2027年度
ベイエリア 魅力、賑わい創出	噴水整備工事	運用	
	DIC協議会の取組推進		
脱炭素化の推進	エリア内の水素供給・利活用に向けた技術開発		
多様な交通手段の充実	事業計画検討、駅とまちとの連携検討		

3か年のアクションプラン（中央防波堤エリア）

「2050東京戦略」より抜粋

最先端技術の社会実装を集中展開 未来技術のショーケース化・賑わい創出を推進

先行プロジェクトの強化

- 次世代モビリティ、最先端再生可能エネルギー、環境改善・資源循環をテーマに、更なる「ショーケース」化を促進
- 採択事業者と関係自治体等のコラボレーション

水素供給体制の構築

- 太陽光発電を活用したグリーン水素製造施設整備

魅力と賑わいにあふれるベイエリアの形成

- 海の森公園での立地を生かしたイベントの実施（音楽フェス、音楽や食と組み合わせたキャンプなど）
- 自動運転等を活用したアクセス改善

コンテナふ頭の機能強化

- 新たなふ頭整備（Y3）を通じてDX・GXを強力に推進

具体的な取組	年次計画		
	2025年度	2026年度	2027年度
先行プロジェクト	事業採択・支援、街中への実装		
グリーン水素製造施設整備	設計		整備
海の森公園の活用	アクセス改善（自動運転等）・イベント実施		
Y3の整備	整備		



- 廃棄物処分場としてできる限り長く活用しつつ、法的・技術的な制約を踏まえ、当面は、実装エリアとして活用
- 将来的に、このエリアの特性を生かし、ここでしか体験できない、海と緑に囲まれた自然と調和した未来の都市を実現

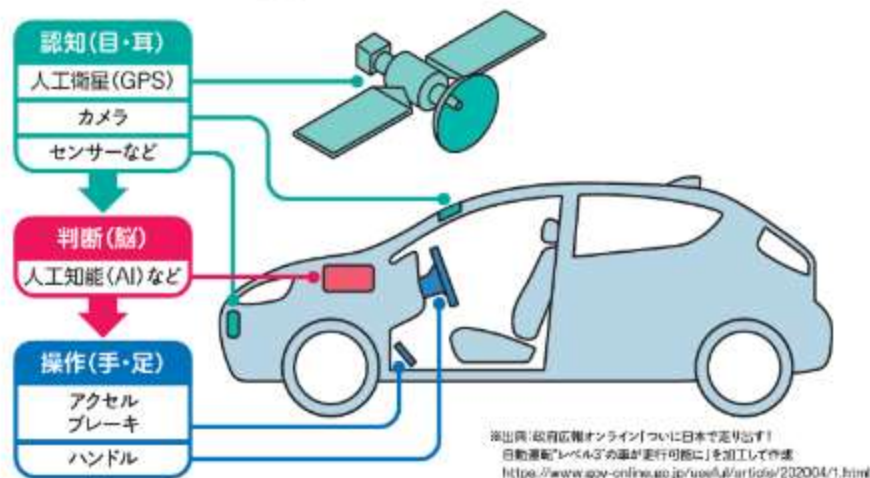
次世代モビリティの実装

誰もが多様なモビリティを選択でき、**自由自在に移動できる社会の実現**に向け、**自動運転や空飛ぶクルマ**など、次世代モビリティの都市への実装を加速

自動運転の社会実装

- 自動運転は、人工衛星の位置情報システム(GPS)、車につけたカメラやセンサーなどを使い、周囲の状況を認知し、車をどう動かすかを人工知能(AI)など、システムが判断し、ハンドルやアクセルなどの操作指示を出すことにより、モビリティを自動で動かす技術

自動運転の技術



自動運転の普及により期待される効果

交通渋滞の緩和

交通事故の減少

移動手段の確保

ドライバー不足の解消

空飛ぶクルマの社会実装

- 空飛ぶクルマとは、電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段

空飛ぶクルマの特徴



期待されるユースケース(例)

平時	都市内移動
	観光遊覧等
	観光地アクセス
	空港アクセス
	地方都市アクセス
	離島間交通
災害時等	救急輸送 (医師の輸送)
	物資輸送
	人員輸送 (医師・被害者等)

- 諸外国では、Advanced Air Mobility(AAM)や Urban Air Mobility(UAM)と呼ばれている
- 「クルマ」と称するものの、必ずしも道路を走行する機能を有するわけではなく、個人が日常の移動のために利用するイメージを表している

次世代モビリティの実装（自動運転）

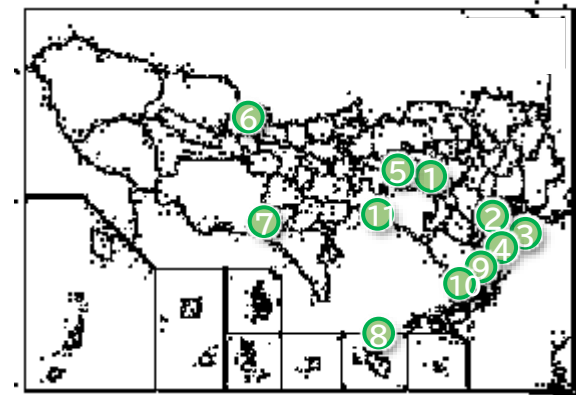
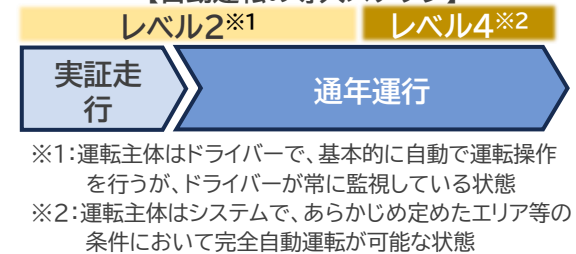
自治体等と連携した自動運転の展開

- 臨海部や西新宿、多摩・島しょ地域など、都内各地でレベル2自動運転による実証走行や通年運行を展開
- 今後、着実に取組のステップアップを図り、都内でのレベル4自動運転の社会実装を実現

<都と自治体等とが連携した取組>

①西新宿 バス ・R7年2月～レベル2 通年運行予定 	②有明・台場 タクシー等 ・R7年1月～レベル2 通年運行 	③海の森公園 バス ・R6年5月レベル2 実証走行 	④シンボルプロムナード公園 バス ・R6年度5月～6月 レベル2実証走行 
⑤荻窪駅周辺 バス ・R6年11月レベル2 実証走行 	⑥箱根ヶ崎駅周辺 バス ・R7年2月レベル2 実証走行予定 	⑦多摩センター駅周辺 バス ・R6年12月レベル2 実証走行 	⑧八丈島 バス ・R6年7月～8月 レベル2実証走行 

【自動運転の導入ステップ】



<その他都内における取組>

⑨羽田イノベーションシティ内 バス ・R6年8月～レベル4 通年運行 	⑩大田区羽田エリア バス ・R7年1月～2月 レベル2実証走行 	⑪和泉多摩川駅周辺 バス ・R6年12月レベル2 実証走行 
--	---	--

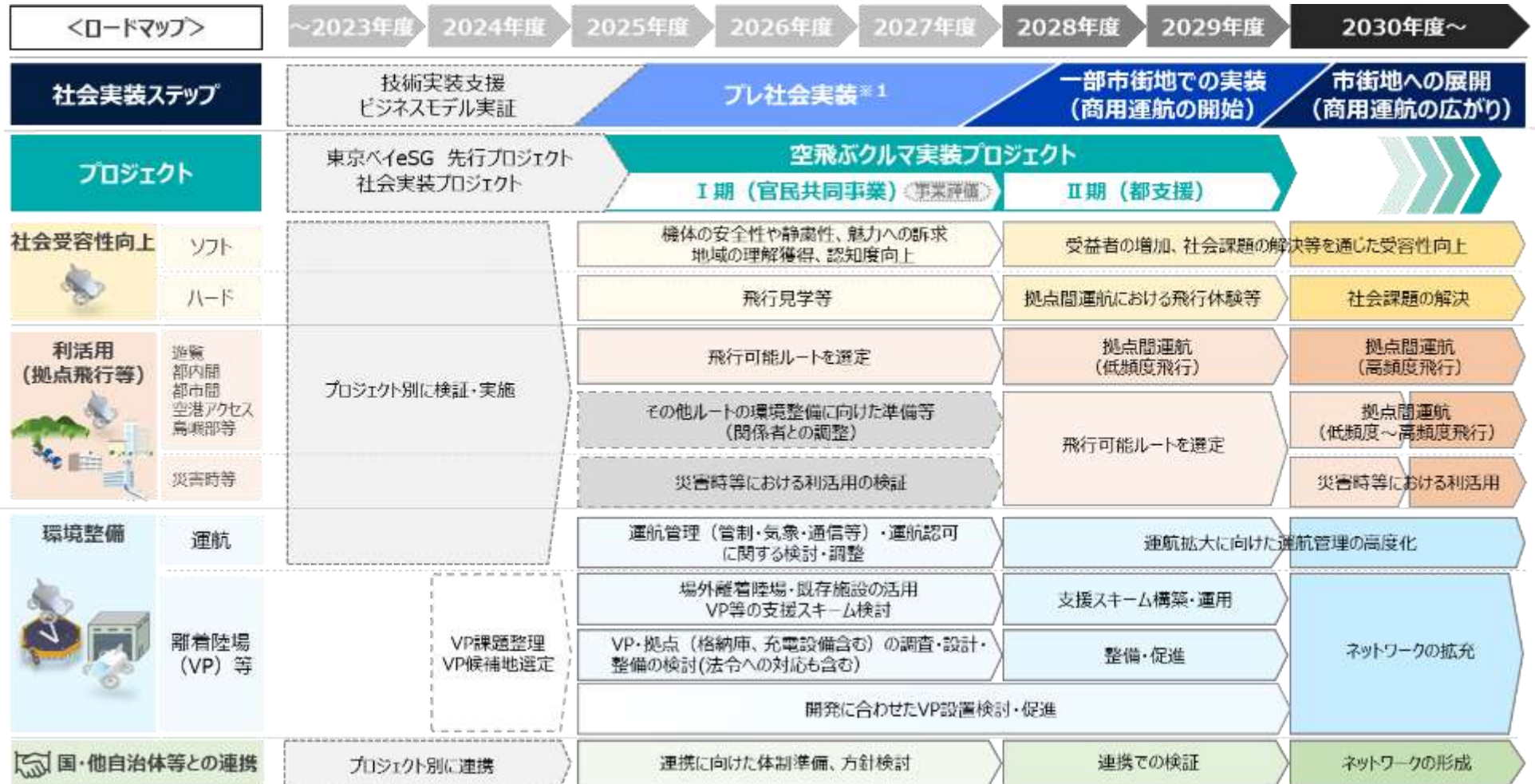
◆意欲ある事業者等の取組を総合的に支援し、早期の社会実装を加速



次世代モビリティの実装（空飛ぶクルマ）



- ・2030年の市街地への展開を目指して、ロードマップを精緻化し、官民連携の取組を加速
- ・既存プロジェクトの成果を反映しつつ、空飛ぶクルマの社会実装に必要な「社会受容性向上」、「利活用（拠点飛行等）」、「環境整備」の3つの要素別に整理し、同時に推進

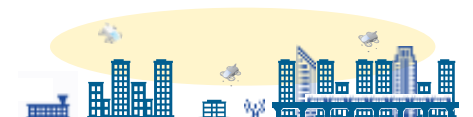


「空の移動革命実現に向けた東京都官民協議会」での議論も踏まえとりまとめ（今後の社会情勢、環境変化、技術進展等の状況等に応じ、内容を更新）

※1 プレ社会実装：型式証明を取得した機体、航空運送事業許可を取得した事業者による実機の飛行検証を伴う実証実験の推進（＝商用運航）を想定

※2 VP（パーティポート）：航空法上の「空港等」にあたり、種類としては、「ヘリポート」のうち空飛ぶクルマ専用のものをいう

※3 空飛ぶクルマ：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段



バイエリアから世界へ 「人類の未来の水準点となる都市の姿を世界へ広げる」

産業・経済・文化を含めた社会全体の変革・発展につながる東京バイeSGプロジェクトが目指す
「持続可能な都市モデル」を、世界へ発信していく

バイエリア→東京

21世紀のあるべき
都市像を実装する



日本のモデル

日本中に成果を
波及させる



世界のモデル



バイエリアが
未来の水準点
となる

附属資料 コラム 「子供のアイデアを形にする取組」

「Minecraftカップ」に「東京ベイeSG賞」を設け、持続可能な未来の都市を表現した作品を表彰



- 雷のエネルギーで動く方舟
- 水のろ過装置や風力・バイオマス発電も整備し、エネルギーの循環を実現



- 垂直農場で食料を生産
- 様々な気候を再現したエコシステムスカイパークで生き物が共生



- 水素で動くモノレールや自動運転バスで安全な移動を実現
- ドローンが子供の安全を見守り荷物を運ぶ

Tokyo Mirai Parkに設置した「東京ベイeSG未来年表」で、東京の未来へ向けたアイデアを募集

		2025-2030年	2031-2040年	2041-2050年	2051-2100年	2101-2200年
 	Life (自分のこと)	• 自分が食べている食品が安全であるかどうか分かるアプリ	• ロボットによる遠隔で診察ができる • 動物と会話ができる	• 難病が治る薬を開発する • 東京の空が星でいっぱいになる！！	• 雷で電力が供給できる • 夜でも良く見える目！街灯ゼロの東京で満点の星空	• 空間転送装置ができてほしい • 世の中から老い、病気がなくなる
	Social (街のこと)	• 学校にも菜園があったら給食が楽しくなる	• 電柱がなくなっている • 空飛ぶ車を運転する！	• 世界中どこでも10分で移動できるようになる	• 月や火星に新しい街をつくる！ • 2100年、AI、ロボットにも人権が与えられ都民に！	• 天気がコントロールできる未来 • 感染症がなくなる
	Environment (環境のこと)	• ミヤマクワガタが都内で採取できる • 都内でも川遊びができる	• 自然災害を予知し、未然に防ぐ！！ • CO2回収システムの実現	• 固体水素の開発、水素自動車の普及 • 自然災害が少なくなる	• プラスチックの代替品を開発する • 日影でも育つ植物ができる	• 地球の周りを囲むソーラーパネルで電力問題解決

附属資料 コラム 「子供のアイデアを形にする取組」

「Tokyo Mirai Park」におけるワークショップの開催

毎月異なるテーマで、子供たちとともに未来の東京について考える場を用意

「生成AIで『未来の東京』を描こう！」

子供たちが考える東京の未来を、画像生成AIを活用して具現化。水と緑に囲まれたまち、空に浮かぶ都市、夜空のきれいな東京など、未来の都市像を思い思いに表現



ワークショップの様子



『ダイヤモンド東京』



『空中庭園都市東京』



『浮かぶ東京の未来』



『クリーンでエコな楽しい
虹の素敵な東京』



『遊ぶところがたくさんある
夜空のきれいな東京』

このほか、未来に活躍するロボットの制作、3Dモデルを使ったまちづくりなどのワークショップを開催

都民から寄せられた声を子供たちとともに、テクノロジーで具体化するプロジェクト

「SusHi Tech Tokyo 2024」などで集めた声を、東京ベイeSGパートナーによるワークショップなどを通して具体化

「陸・海・空・宇宙をつなぐマルチモビリティポートをつくろう！」

未来のモビリティに期待する声から

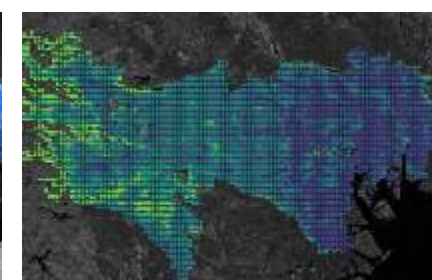
様々なモビリティの結節点となるポートを構想するワークショップ
設計からプロトタイプ作成までの取組を企業や専門家がサポート



「データを用いた緑のまちづくりワークショップ」

緑豊かな未来を望む声から

“緑”を定量評価する技術を学ぶワークショップ
工学/建築系の大学生や専門家がサポート



東京バイeSGプロジェクト(Version 2.0)

令和7年3月 発行

編集・発行 政策企画局計画調整部プロジェクト推進課(東京eSGプロジェクト推進担当)

【表紙人物写真】出典:国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)
本紙に掲載されている画像の一部は、ピクスタから提供を受けています。